

82

裂田溝の取水口を唐戸からとと言いい、水の管理者を唐戸番と呼んでいました。唐戸番は、一の井堰と裂田溝の水管理がまかされ、日常は取水口に水を溜め必要な水位を確保し、洪水時には水門を閉じするなど年間を通して、厳しい管理を行っていました。特に田植え時期になると下流域の、農業用水確保のため細や

裂田溝 9

かに毎日のように見回ります。見回りは10月上旬の稲刈りの時期まで続きます。

今年も6月9日午前6時、山田区の水利、農事役員、唐戸番が集まり、「唐戸開き」の神事が行われました。神事は水門の巻き上げ機前で水神様に御神酒、塩、いりこなどを供えて、五穀豊穡と下流域(山田・安徳・東隈・仲・五郎丸・松木・今光)の田畑を潤す豊かな水の恵みを祈願します。その後周囲を塩と御神酒で清めて、唐戸の水門が開かれます。水門には昭和24年の大水害のとき「正徳4年」(1714)の文字が刻まれているのが発見されています。水害の度に修復されていますが、近年では昭和48年(1973)に水門から旧山田バス停の間をコンクリートで被覆する工事が行なわれています。

水門のすぐ横の白い建物は「山田水位局」と呼ばれ、那珂川の水位を自動で測り、データーは横に立っているパンザマストという無線

します。

※水口 川から田に水を引き入れ

るところ

※御神撰
神に供える食べ物

一の井手 伏見の宮の
護りあり
沼々として溝を下る

南高

4. 汲ん場-I



裂田溝水門前で「唐戸開き」の神事が行われます。



一の井堰の水門・裂田溝取水口（唐戸）からと

コースメモ

- 1.取水口（唐戸）
（一の井堰からの取水）
- 2.伏見神社境内の池
より流れ込み
- 3.伏見神社
宮田の水口
- 4.汲ん場ーイ



この風景は年に1回裂田溝の清掃のとき、わずか1時間位しかみられません。



ぼうじん
防壁フェンス
唐戸の水門にゴミが
集まらないように
とりつけられています。

 **砂落とし**
裂田溝取水口に砂が流れ込まないように一段低くなっています。